

<参加メンバー>

参加メンバー：5人（男性3人、女性2人）

天候：晴れ

<コースタイム>

谷町九丁目駅10：25～真言坂～10：30生國魂神社～防空壕跡～11：00源聖寺坂～学園坂～11：45口縄坂～12：15愛染堂（昼食）13：00～愛染坂～金龍の清水～13：10清水坂～13：30玉出の滝～13：40天神坂～13：50安居神社～逢坂～14：15茶臼山～15：30四天王寺、亀井の水～16：20谷の清水～16：50天王寺駅

<山行の概要>

前回に引き続き上町台地の縁（へり）を歩きます。上町台地は標高20m程度、北端の大坂城が32m、南へ行くほど低くなっています。古代、西側は崖が続きすぐ海に面しており、東も古河内湖（瀧）に面し、いわば海へ突き出た半島のような感じと古絵図を見れば理解できます。今回は上町台地の西に多数集まっている寺社や、天王寺七名水、天王寺七坂、最後に日本最古の寺、四天王寺を巡った。

【天王寺七坂】地下鉄谷町九丁目を出て西へすぐ真言坂から始まり源聖寺坂、口縄坂など寺社と坂と湧水を巡りながら南下していく。

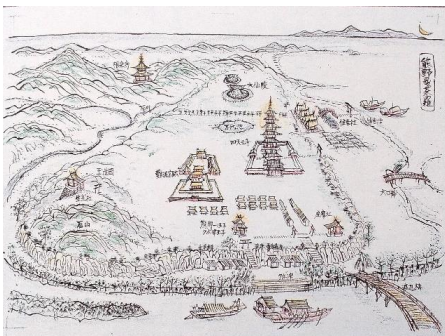
口縄坂は織田作之助の「木の都」に出てくる、木々に覆われ雰囲気の良い坂だ。大阪の市街地でこんな木々のあるしっとりとした静かな空間があることが不思議だ。七坂のうちでこの坂が一番気に入った。この辺りはとにかく寺が多い。豊臣秀吉が大坂城の守りを固めるためこのあたりへ寺社を集めたとのこと。今回歩いた周辺の寺を数えたが30以上もあった。寺社銀座かと思うくらいの密度だ。

愛染堂は“愛染かつら”と呼ばれる樹齢数百年の巨木がある。縁結びの霊木とか。昔、同名の映画や歌がヒットした。銀山寺では境内で六道輪廻を廻した。梅が満開。

【天王寺七名水】かつて上町台地に降り注いだ雨は地下水として蓄えられ豊富な湧水量を有していた、その地下水が台地の崖の下から多くの良質な水となって湧き出していた、いまは地表がアスファルトで覆われ、ビルの杭打ちや地下建造物などで「水みち」が破壊され、かつ地下水のくみ上げもあり、かつての多くの名水は消えている。現在も湧いているのは“金龍の水”“谷の清水”など3ヶ所しかない。金龍の水は“水質佳良清冽比類なし”と称賛され茶の湯に使われたと。“谷の清水”はいまでも滾々と湧き出しており利用者は多い。清水寺は舞台があり眼下に町が一望できる。境内に“玉出の滝”があり京都の清水寺と同じように3本の石樋で水が落ちている。

【四天王寺】

西の石の鳥居から入る。傍らの大石柱には“大日本佛法最初四天王寺”と彫られている。聖徳太子の誓願により建立された日本仏法最初の官寺であった。南から北へ向かって中門、五重塔、金堂、講堂が一直線に並びそれを回廊が囲む日本最古の建築様式、現在もまったく変わっていないとのこと。西門の石鳥居は古くから極楽浄土の東門にあたりと信じられてきた。彼岸の中日には石鳥居の向こうに夕陽が沈むのが見え多くの人が集まり極楽浄土を願う「日想感」という法要が行われている。四天王寺から海が近くに見えていた時代、彼岸の中日にはその海に沈む夕陽を見ながら極楽浄土に思いを馳せていたのであろうか。当時のことを思いながら境内を歩き最後は仁王門を出て天王寺駅へ向かった。（Gi）



室町時代の上町台地俯瞰絵図、大坂城はまだない



地下鉄谷町九丁目駅からスタート



真言坂を上がって、まず生國玉神社へ



生國玉神社の鳥居を出る



生玉公園には梅が満開



公園の西の崖を利用した防空壕
(入口は塞がれている)



七坂のひとつ、源聖寺坂



源聖寺坂(上から)



銀山寺の庭



六道輪廻を廻す



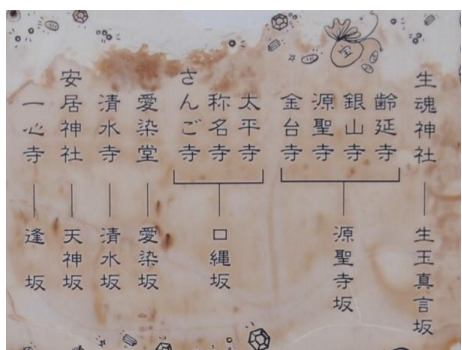
結果は・・最高位の天上



口縄坂



大阪市のマンホール蓋



寺社と坂



愛染坂



愛染堂



愛染堂にて



愛染堂の多宝塔そばで昼食



愛染坂



清水坂、元々は海に面した崖。
高さは10m近い



金龍の井戸



いまだに湧いている



清水寺の舞台



玉出の滝、四天王寺の龍の池から
伏流水という



ボケの花



増井の清水、立ち入りできない



天神坂上り口

天神坂
 江戸時代のなにもわのまちでは、とくに
 飲み水としては水質のいい上町台地周辺
 の水を汲んできて売り歩く水屋なる商売
 が盛んであったといわれています。
 古くからこのあたり周辺には、「天王
 寺七名水」と呼ばれる良質の湧き水があ
 りました。
 この施設は、当時の湧き水のみを
 をこの地に再現したものです。
 平成十三年 大阪市建設局



安居神社への階段



安居神社拝殿



ここは真田幸村の戦没地。
 真田氏と今川氏、古い縁(エシ)か。



安居の清水



茶臼山への上り



途中であべのハルカスが見える



茶臼山頂上



三角点。標高26m



一心寺、現在の山門



四天王寺石の鳥居(西門)。
 傍らの石柱には大日本仏法
 最初四天王寺と彫刻。



転法輪、お釈迦様の教えの意味が
 ある。手のひらで回す。元々は古代イ
 ンドの戦車の車輪を形どったもの。



四天王寺にある龍の井戸



井戸の上屋の天井画、龍が描かれている



井戸の水に天井の龍が映る



四天王寺仁王門、一心寺と対比するとおもしろい。



谷の清水、寒い日だったが水は温かい。



上町台地の伏流水がいまなお、こんこんと湧き出る。

終わり